



学校案内

京都府立舞鶴支援学校（新）行永分校

教育と医療との協働により、子どもたちに「生きる力」を育みます。



【学校所在地】

〒625-0052 京都府舞鶴市行永 2510-17

TEL (0773) 63-6700 FAX (0773) 63-6701

【学校所在地】

JR「東舞鶴駅」～京都交通バス「医療センター前」徒歩3分

【ホームページアドレス】

<http://www1.kyoto-be.ne.jp/maizuru-yukinaga-s/>

輝かそう！ いのち

～ともにくらし、ともに学び、育ちあう～

「行永分校」の開校にあたって

校長 細見 恵美

平成 28 年 4 月に、行永分校と北吸分校が統合され新たな分校「行永分校」が開校しました。「行永分校」は、隣接する独立行政法人国立病院機構舞鶴医療センターに入院している病弱の児童生徒と、京都府立舞鶴こども療育センターに入所している肢体不自由の児童生徒が共に学ぶ学校となり、設置学部は小学部と中学部です。

また、分校内に本校高等部分教室を設置しました。分教室は、本校高等部に籍を置き、舞鶴こども療育センターに入所している生徒で、本校への通学が困難な生徒が学ぶ場となりました。

「行永分校」は、医療との協働により、「ともにくらし、ともに学び、育ち合う」環境を築き、児童生徒一人一人が自立とよりよい社会参加の実現をめざし、いのちを輝かせて「生きる力」を育めるよう、全力で取り組んで参ります。

【教育方針】

- 1 心身の健康と安定を図り、安心して安全に過ごせる環境で、好ましい人間関係を作り、思いやりのある豊かな心、生きる意欲を育てます。
- 2 一人一人の個性や教育的ニーズに応じた指導により、活動や経験を拡大し、興味・関心を広げ高めるとともに、思いや考えを表現する力や主体的に学ぶ力等、生活に生かせる力を育てます。
- 3 交流及び共同学習をとおして、互いに理解し合うことにより、協力することやコミュニケーション能力等、社会性を育みます。

障害のある人もない人もともに生き生きと暮らせる「共生社会」の形成に向け、さまざまな機会に児童生徒の頑張る姿を発信し、地域の皆様への理解啓発も積極的に行っていきたいと考えておりますので、御理解、御支援をどうぞよろしくお願いいたします。

新しい環境を生かし、特色ある教育を進めます

1 医療との連携により、個々の障害や病気に対応・配慮した指導を進めます

- 学校での学習や生活、病院での治療やリハビリ、生活が円滑に行えるよう日常的に病院と連携し、学習方法や教材、学習場所（ベッドサイド、病院学習室、教室等）や時間、活動量等について工夫し、一人一人のニーズに応じて必要な配慮を行います。
- 定期的に病院と連絡会を持ち、児童生徒の生活の様子や体調、治療等を共有し、学習指導や生徒指導、進路指導等の充実を図ります。
- 医療の継続的な診察・診断を踏まえて、個別の教育支援計画、個別の指導計画を作成・実施・評価・改善し、教育効果を高めます。
- 作業療法士、理学療法士、言語療法士等、医療専門職と密に連携を図り、自立活動の指導を充実させ、病気の回復や障害による困難を軽減します。
- 医療機関の専門家による研修会を実施し、教育の専門性を高めます。

2 新しい教育施設・設備の活用により、子どもの力を引き出し、伸び伸びと活動できるようにします

[水治訓練室（プール）] 肢体不自由のある子どもが全身運動をすることができ、身体機能や呼吸機能を高め、主体的な動きを引き出します。また、緊張の緩和、リラックス効果により、心理的な安定を図り、教育効果を高めます。

[プレイルーム] 光や風が入る明るく広いオープンスペースは、集会や音楽、体育、遊びの指導等多目的に利用できます。子ども同士が関わる活動を広げ、主体性を引き出します。

[リラックスルーム] 子どもの気持ちを落ち着かせたり、切り替えたりして、次の活動へ向かえるようにします。



水治訓練室



プレイルーム

3 情報通信技術（ICT）の活用により、社会とつながり学習意欲を高めます

- タブレット等ICT機器を活用し、疑似体験や調べ学習等で課題解決を図ることにより、興味・関心を引き出し高めたり、知識・理解を深めたりして、主体的に学ぶ態度を身につけます。
- ICT機器を活用し、舞鶴支援学校本校、前籍校や交流校等の友だちと学習活動を共有することにより交流の場を拡大し、学習意欲を高めます。

地域支援センターの体制が変わりました

分校の統合に伴い、現在分校に設置していましたが「病弱教育支援センター」「運動発達支援センター」「視覚支援センター」の相談機能を、次のように、舞鶴支援学校トータルサポートセンター(TSC)、及び京都府北部の各地域支援センターに移しました。

- 1 「病弱教育支援センター」の相談機能は、「行永分校」が引き継ぎました。
 - (1) 「行永分校」は、病弱教育としての専門性を生かし、病弱教育に関わる相談について対応します。
 - (2) 「行永分校」は、医療センターに短期入院している児童生徒の「短期サポート」(学習支援)も引き続き実施します。
- 2 「運動発達支援センター」の相談機能は、TSCに移しました。
- 3 「視覚支援センター」の相談機能について
 - (1) 「視覚障害(全盲・弱視等)」にかかわる相談は、TSCへ連絡ください。
 - (2) 「見え方」についての相談は、各地域支援センターへ連絡ください。

ア 舞鶴市	→	舞鶴支援学校
イ 福知山市・綾部市	→	中丹支援学校
ウ 宮津市・京丹後市・与謝野町・伊根町	→	与謝の海支援学校

TSCは、今後も府北部の相談支援の拠点校として、府北部地域支援センター等の関係機関と連携し、地域のニーズに基づく特別支援教育の充実、及び地域の支援力の向上に向けた取組を進めます。是非御活用ください。

【連絡先】

- ◇ 舞鶴支援学校
トータルサポートセンター(TSC)
(0773)78-3133
- ◇ 舞鶴支援学校行永分校
(0773)63-6700

